

「諏訪地区教科用図書採択研究協議会並びに諏訪地区教科用図書調査研究会合同会議」議事録

日時：令和2年7月30日（木）午後1時30分～4時10分

場所：諏訪教育会館 大会議室

1. 開会（茅野市教育委員会 学校教育課 学務係長）

諏訪地区教科用図書採択研究協議会委員交代のため、原村教育委員会清水教育長から自己紹介

2. 教科用図書採択研究協議会長 あいさつ（茅野市教育委員会 山田教育長）

みなさん、こんにちは。本日は、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。各学校、各教育委員会とも、新型コロナウイルス感染症対策において様々な課題を抱えていらっしゃる中、お集まりいただき御礼申し上げます。

本日は、令和3年度から使用する、次期学習指導要領に基づく中学校用教科書について選定を行います。

中学校の教科書は、調査研究会から報告された資料に基づき議論をしていただき、委員の総意によって選定していただきます。

そのため、本日は、調査研究会の研究員長に出席していただきました。なお、例年であれば副研究員長にご出席いただくところですが、会議の密集を避けるため、技術家庭科を除いて今回は研究員長のみの出席とさせていただきます。

調査研究員の先生方には、1学期の校務の大変お忙しい中、少数精鋭で定められた期間で慎重かつ熱心に調査研究を重ねていただき、報告書を作成していただきました。

選定にかかわるこの研究は、本格的な教科書研究・教科指導の研究の場であり、研究に携わった経験により培った力を今後の教科指導に繋げていただき諏訪郡全体へ広げていただきたいと思います。

特に、正副員長の先生方には、調査研究の方向づけやとりまとめ等、大事な役割を果たしていただき感謝申し上げます。

また、次期学習指導要領に基づく採択であり、大変な調査研究となりましたが、充実した議論を重ねていただき報告書を作成いただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

なお、令和3年度の小学校教科用図書については、5月22日の教科用図書採択研究協議会で確認いただいたとおり、令和元年度採択における調査研究の内容を活用し、令和3年度の使用教科書を選定することといたします。

いずれにしても、教科書は、子どもたちにとって学習の大事な教材です。デジタル教科書の使用の要件が緩和され、ICTも非常に大きく進展している中でも、教科書における学びの場としての役割は大きな比重を占めています。子どもたちがどんな教科書でどんな学習をし、楽しく意欲的に学ぶことができるかは極めて重要になります。

いずれの教科書もそれぞれによくできておりますので、甲・乙つけがたい難しさもあろうかと思いますが、協議会員のみなさまには学習の主体者である子どもたちの立場に立って議論をしていただき、適切な教科書を選定していただけるようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 校長会長あいさつ（諏訪小中学校長会長 永明小学校 五味校長）

みなさんこんにちは。永明小学校の五味でございます。7月の最初くらいからコロナ感染防止のため

に消毒ボランティアの方々に、教室、手すり、ドアノブ、トイレ清掃をしていただいております。お礼の意味を込めて、特別支援学級の子どもたちを代表して、園芸委員会が育ててくれた球根と自分たちの作ったプラ板を、昨日と一昨日にお渡ししました。そうしたところ、仲良し学級の黒板に、ボランティアの皆様が永明小学校の皆さんへと一筆書き置きをしてくださいました。そのことを、今日の給食中に放送で流しました。コロナ感染というたいへん恐ろしい状況の中ですが、子どもたちはとても豊かな学びをしたなと感じました。

教科書は、本日中学校教科書中心に選定について議論されます。来年以降、中学校で子どもたちが豊かに学べる学習材となるよう、皆様からの忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。報告書を作成頂きました先生方、本当にありがとうございました。本日は、よろしく願いいたします。

4. 議事（議長：山田協議会会長）

事務局：それでは、議事に入ります。

この協議会の規約第6条第1項に規定されておりますとおり、本日は、過半数、また、各市町村1名以上の出席がありますので、会議は成立いたします。（委員14人全員出席）

また、規約同条第2項の規定により会長が議長を務めることになっておりますので、山田会長に議事の進行をお願いいたします。

（1）令和3年度以降使用諏訪地区教科用図書採択の調査について

ア 事務局から教科書展示会の結果について

議長：始めに、本日のおおよその予定ですが、全体で2時間を予定しております。また、本日の議事録は後日公開となることをあらかじめご承知おきください。

それでは、議事に入ります。

「教科書展示会の結果について」事務局の説明を求めます。

事務局：来場者は94人で、アンケートは過去の教科書と比べてみての感想や会社での違いについての記載等がありました。また、教職員からは会社ごとの取り上げ方が勉強になったとのご意見がありました。選定に関わるような意見の記載はありませんでした。

調査研究に活用いただくため、各研究員長には7月9日に配布させていただきました。

議長：ただいまの説明に対し、質疑はございますか。（質疑なし。）

イ 調査研究員会から教科用図書の調査報告及び選定について

議長：それでは次に、調査研究員会から教科用図書の調査報告及び選定についての議事を進めます。

まず、各教科研究員会から報告をいただき、質疑・意見交換を行います。

なお、各教科おおむね10分くらいで選定したいので、説明と意見交換は要点をまとめた確に発言してください。研究結果報告の最初か最後に、研究員会としての教科書が最も適切であると判断したか、根拠を示し5分程度で説明してください。

質疑及び意見を述べる場合、事務局がマイクをお持ちしますので、挙手をお願いします。

それでは、国語からお願いします。国語については国語と書写それぞれ別をお願いします。

国語 : 別紙1として、光村図書、三省堂、東京書籍です。別紙2で教育出版について記載いたしました。別紙1の3社について、主に読むことについて特色ある点についてご報告いたします。

研究員長 : 三省堂は、説明文の基本構造、人物相関図、行動描写といった学習内容を「読み方を学ぼう」として強調され、比較・仮定するといった「思考の方法」も強調され、文章をより深く読み解くための汎用的な力を育成するという目標が明確に示されております。

1年生では「三角ロジック」というものが読み方を学ぶために取り上げられているが、この言葉は学習指導要領や解説には存在しない。説明的な文章の指導事項の中の「事実と意見の関係について捉える」という内容に該当すると思われます。用語のみが1人歩きしないように、配慮する必要があります。

東京書籍の特徴として、学習活動の導入部に「学びの扉」が配置されております。ここではキャラクターが困っていることが課題として位置付けられております。教科書後半に「学びを支える言葉の力」のページがあり、「学びの扉」から参照できるよう工夫されております。

授業での活用の仕方には整理が必要で、異なる作品の文学的な文章が連続的に掲載されている部分があり、どのような順番で学習を進めるか教員の配慮が必要となります。

光村図書は、教科書冒頭に全ての領域に渡る教材と学習内容が見開きの一覧表として巻頭に配置されており、かつ当該教材で学ぶ重点的内容が言葉で端的に示されており、効果的な支援資料として位置づいております。他社でも同様の物はありますが、見開きで説明しているのは光村図書のみとなります。

一年間を見通した「学習の窓」の表示により、当該教材で重点的に学ぶ内容が明確に示されております。文学的な文章と説明的な文章も区別されており、見通しを持つうえで大変工夫されております。

学習の窓のまとめのページには「読むこと」だけでなく「話すこと」「聞くこと」についても同様にまとめているのは光村図書だけであり、配慮がみられます。

以上のことから、調査研究員会としては学習指導要領の内容を的確に反映し、指導する側・学ぶ側それぞれの立場に立って、隅々まで配慮が行き届いているという点で光村図書の教科用図書の選定が適切と考えます。

議長 : ありがとうございます。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)

議長 : 次に、ご意見ありましたらお願いします。

協議会委員 : 光村図書が、新学習指導要領に一番配慮しているということによろしいですか。

研究員長 : そのとおりです。「教材の窓」では見開きで見通しを持つことができる。学習指導要領と照合すると、見通しをもち学びを振り返ることが主体的な学びに繋がっていくと思います。対話的な学びには、呼びかけをして友達と話し合うという点で

各社工夫しております。深い学びについては、国語科は自然科学や社会科学的な回答をしないという点で特徴がありますが、教材から何を学ぶのが大切になってくると思います。その際に、光村図書については何をこれから学ぶのか見通しが明確であるところが配慮されていると思います。

議 長 : 関連してご意見がありましたらお願いします。

協議会委員 : 光村図書の教科書に掲載されている文章について、ひとつひとつが質が高いと感じております。その点からも、光村図書は賛成です。

議 長 : 他にご意見はありますか。

協議会委員 : 非常に教材として素材が素晴らしいと思っています。今まで大事にしてきた作品等も多いと思うが、そこにはどういう観点がありましたか。

研究員長 : 各社それまで大事にされてきた往年の名作も載っていますし、中学生には共感を呼ぶだろうと言う作品も載っています。それは光村図書が最も多いと感じます。

議 長 : 他にご意見はありますか。(なし)

意見が集約されたと判断し、国語について最終決定をしたいと思います。

国語は、『光村図書』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)

全会一致で『光村図書』を選定することに決定しました。

次に、書写について説明をお願いします。

研究員長 : 報告書の別紙1の3種は、光村図書、東京書籍、教育出版です。別紙2で三省堂について報告しています。

別紙1の総合所見の一部を説明します。

光村図書は、巻頭で中学3年間の目標が端的に示されているため見通しを持って学習が進められます。全段階において「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という三段階の学習活動が設定されており、生徒が主体的に学習できる構成となっております。取り外して使える書写ブックが付属しており、家庭学習等でも使用できる点は工夫されております。

東京書籍は、冒頭に中学校3年間で学ぶ内容が明確に示されており、見通しをもって学習を始めることができます。生活の中で役立つ場面も示されており、学習の意義にも触れられている。判型がAB版でB5版より大きい点は配慮されております。

また、映像資料に繋がる「D マークコンテンツ」があり、指導に活かせるよう工夫されております。

教育出版は、冒頭で目的に合わせて文字を書けるようになることが書写を学ぶ意義として強調されております。学年の扉のページに学習内容を端的に示した記載があり段階的に学習を進めていけるよう工夫されておりますが、朱筆が小さいという難点があります。映像資料に繋がる「まなびリンク」があり、指導に活かせるよう配慮されております。

調査研究員会としては、各社工夫されておりますが、紙面や書き込みをした場合の配慮など考慮した際、光村図書が教科用図書として適当と考えます。

議 長 : ありがとうございます。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)

議 長 : ご意見がありましたらお願いします。(なし)

意見が集約されたと判断し、書写について最終決定をしたいと思います。

書写は、『光村図書』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)

全会一致で『光村図書』を選定することに決定しました。

次に、社会科について説明をお願いします。社会科についても地理・歴史・公民と地図それぞれ別をお願いします。

研究員長 : 社会科で適当と認められる教科用図書は、地理・歴史・公民の3分野とも、東京書籍、帝国書院、日本文教出版の3社です。

研究員会としてその中でも特に東京書籍を候補としておりますので、重点的にご説明申し上げます。新学習指導要領の改訂のポイントの中で、内容自体は社会科に大きな変更はありませんが、授業改善の方向性が大きく示されたと受け止めております。

それは、社会的な見方・考え方を働かせた問題解決的な学習によって資質・能力の育成を目指す点、主体的で対話的な深い学びの観点からの授業改善という2点です。この2点について、それぞれの教科書について主に調査を行いました。

東京書籍の地理については、課題解決的な単元及び1時間の構成とし、社会的な見方・考え方を働かせて深い学びが実現できるよう工夫されております。さらに単元のまとめでは、対話的な活動や思考ツールを活用しながら単元全体を貫く「探究課題」を解決できるよう工夫されております。その具体的な内容は、例えば、興味を引き出す導入→学習課題→本文→「チェック」「トライ」の流れで授業を構造化し、対話を促す「みんなでチャレンジ」を各所に設け、主体的で対話的な学習ができるよう工夫されているところ等です。そのため、授業改善の2点の方向性について配慮されていると考えます。

また、歴史については、問を軸とした単元構成で、社会的な見方・考え方を働かせて、主体的に課題解決的な学習ができるように工夫されております。他社と比べて、こういった部分が強調されているのが、特徴であると思います。

議長 : ありがとうございます。まず、説明に対して質疑がありましたらお願いします。

協議会委員 : 地理・歴史・公民の全部の部分の説明ではありませんね。

研究員長 : 今、地理と歴史を具体例としてご説明いたしました。

協議会委員 : 特に歴史は、事実をしっかりとらえると内容が多く、てんやわんやの授業が多いかと思いますが、むしろすっきりとした教科書があつていいかと思いますが、その辺はいかがでしょうか。

議長 : 関連した質疑はありますか。(なし)では研究員長お願いします。

研究員長 : 今仰っていただいた部分も、教科書本文に載っている表記と資料に載っている表記の構成についても丁度良いと感じており、事実を正確にとらえているのは東京書籍だと考えております。

議長 : 公民についてはいかがですか。

研究員長 : 公民についても、社会的な見方・考え方、主体的で対話的な深い学びの観点から東京書籍が優れていると感じます。

議長 : その他ご質問ございますか。

協議会委員 : 社会科は地域に根差した学習が大事だと思います。歴史は特に。それぞれの教科

書の中では、諏訪または長野県に関して記載があるものはありますでしょうか。
また、地域の方に学びを誘うような教科書という観点はあるか教えてください。

研究員長 : その点についても大事な視点だと考えております。東京書籍では、松本城、旧開智学校・岡谷蚕糸博物館から提供されている製糸工場の写真と満州移民について掲載されている。帝国書院では、ナウマンゾウの写真、旧開智学校、製糸工場、満州移民についてそれぞれ同じような行で載っております。

そのため、教科書からでも地域に根差した学習はできますし、諏訪の場合は地域教材の研究をかなり進めておりますので、教科書に基づきながらも地域教材で満州移民等取り上げている先生方が多いと思っております。

議長 : その他、ご意見ありますでしょうか。

協議会委員 : 東京書籍の教科書を特に見たが、地理・歴史・公民のどの領域においても5つのテーマを設定し、テーマと関連付けて全体を構成していることは良いと感じます。新学習指導要領を踏まえた際、特に防災・安全という観点が地理・歴史・公民の中で取り上げられております。しかも、先の自然災害のように、見ただけでショッキングな映像や写真などもある中で、それに対しての配慮がされていると感じました。

また、冒頭に研究員長が述べられた、授業改善の方向性を示している点は、社会科の授業を考える上で非常に大事な記載だと感じます。問題・課題の捉え方や、いろんなメディアを使って調べまとめ発表していこうというのを子どもたちでも分かるように示している点が、自分一人でも学んでいけるという配慮がされていると思いました。新しい社会を作るための教科書として、個人的には東京書籍を評価したいと感じます。

議長 : その他に質疑、ご意見はありますか。(なし)

意見が集約されたと判断し、社会科について最終決定をしたいと思えます。

社会科は、『東京書籍』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)

全会一致で『東京書籍』を選定することに決定しました。

次に、地図について説明をお願いします。

研究員長 : 地図は、適当と認められる教科用図書として、帝国書院と東京書籍を挙げております。結論としては、研究員会としては帝国書院を推薦します。理由を申し上げます。

帝国書院はAB版という版からA4版になっていることで、地図が大きく見やすくなり、広域な繋がりを確認できるようになったことが特色である。主体的に学ぶ、地理的な見方・考え方について工夫されている。

特に今回の改訂で、デジタルコンテンツと呼ばれるものが多く採用されております。タブレット等で活用でき、自分で調べていける点が工夫されています。例えば、NHKの動画コンテンツにアクセスできたり、衛星画像を見られるといったことが取り入れられている。そういった観点から、帝国書院が適当と考えます。

議長 : ありがとうございます。説明に対してご質問がありましたらお願いします。

協議会委員 : 私も帝国書院を拝見しましたが適当と感じます。一方で、東京書籍の教科書についても同じ大きさです。それから、社会科は東京書籍のため、教科書と関連付け

た部分が東京書籍の地図帳であるかと考えますが、それでも帝国書院を推薦する理由を教えてください。私も帝国書院の地図帳の方が良いかと思いますが。

研究員長：帝国書院の教科書は、地理的な見方や考え方の部分について作業のコーナーが設けられており、自分で主体的に学べるコーナーに対する配慮が比較的優れていると感じました。教科書との関連性も大事ですが、地図帳を自分で見て、自分で調べていくことが可能になっているのが帝国書院の特徴と感じております。

議長：よろしいでしょうか。それではご意見はありますか。(なし)
意見が集約されたと判断し、地図について最終決定をしたいと思います。

地図は、『帝国書院』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)

全会一致で『帝国書院』を選定することに決定しました。

次に、数学について説明をお願いします。

研究員長：数学科では、啓林館、東京書籍、学校図書の3社を適当と認められる教科用図書として挙げました。それぞれの教科書を、具体的な記載内容を取り上げて良さを説明いたします。

啓林館は、各章の初めの「学習のとびら」では今話題の題材を取り上げ、生徒同士の対話で、数学的な要素に着目させています。例えば、データの活用の学習場面では、3年生を送る会の演出で利用する紙ふぶきについて「滞空時間がより長い形や大きさを見つけよう」という話し合いが展開されています。このような題材に触れることで、生徒が興味・関心を高め、数学を学ぶ楽しさや意義を実感しながら自分の学びを広げていけるように工夫されています。

また、学習内容と利用して問題解決を進めるページでは、それぞれの問題を「場面の状況を整理し、問題を設定しよう」「見通しを立てて、問題を解決しよう」「問題を広げたり、深めたりしてみよう」という3つのステップで解決していくように道筋が示されています。例えば、3年生の相似の利用では、相似関係である2つのアイスクリームのカップの内容量と値段を比較することから始まって、最終的にはより割安なカップの大きさを求めるところまで学びを深めています。このような数学的な見方・考え方を働かせた活動を通して、主体的に学習する態度を養うことができるよう工夫されています。

東京書籍は、各単元の問題提示の場面では「考えてみよう」という四角囲いで生徒が考える問題を見やすく提示し、その後の問題解決の筋道も順を追って分かりやすく示す構成となっております。例えば、3年生式の計算の利用の「幅の等しい道路の面積は常に道幅×中心線の長さになっている」という性質を学習する場面では、具体数による計算で生徒がそこに潜む性質を自ら発見した後、どんな場合にも性質が成立することを主体的に証明できるよう問題解決の筋道が示されています。このような工夫により、問題発見・解決の過程を充実させ、知識及び技能が身につく、思考力・判断力・表現力が高まることが期待できます。

また、一次関数とみなすことを学習する単元では、事象をXとYを利用してグラフに整理することで、既習事項の1次関数をそこに発見できるような興味深い問題が設定されており、問題解決で働かせる見方・考え方を引き出し、意識を付ける工夫をし、見方・考え方が豊かになるよう配慮されています。

学校図書では、円の学習の「とびら」では、サッカーのシュートが入りやすいボールとゴールの位置関係を探ることから円周角への興味を高めたり、1次関数の学習の「とびら」では、標高と気温の関係を示す資料を参考に頂上の気温を予想させたりするなど、身の回りの事象から問題を発見し、見方・考え方を働かせて主体的に解決する力を養えるように展開が工夫されています。

また、3年生が三平方の定理を学んだ後に「数学的活動」というページを設け、「浮世絵に描かれた富士山は本当に絵のように見えるのだろうか」という問題を解決する場面では、仲間と考えをやりとりしながら主体的に追究を進めることで、身に付けた知識・技能をもとに思考力・判断力・表現力を働かせながら協同の学びを展開し、これからの社会の中で生きていくために必要な資質・能力を育成することができるように工夫されています。

3社を比較して評価としては、いずれにしても取り上げられている問題の題材は、生徒が身の回りで経験したり、ニュース等で見聞きしている内容であり、自分に引き寄せて考えられるように工夫されています。

次に、問題解決を進める場面ですが、ここに各社の構えがあるように思います。東京書籍ですが、問題場面の提示に引き続き、解決の見通しが登場人物によって言葉で描かれています。見通しに続く形で、問題解決に必要な数学的な見方・考え方を登場人物が語ります。このような工夫によって、生徒は教科書の中に惹かれ、解決の道筋に沿って一人でも学習を進められるよう配慮されています。

学校図書については、問題場面の提示に引き続き、見方・考え方というコーナーを設け、解決の見通しと数学的な見方・考え方を明示しています。それ以後は、提示された見通しに沿った手順で小問が配置され、全社の教科書と同様に、生徒は教科書の中に引かれた解決の道筋に沿って、一人でも学習が進められるように配慮されています。

最後に啓林館ですが、まず問題場면을提示したのち、解決の見通しを自分なりに予想します。続いて、「話し合おう」というコーナーを設け、解決の見通しを友達とのやり取りの中で明確にしてゆくように投げかけています。2社との大きな違いは、生徒自らに解決の見通しを立たせようと試みていることです。2社は生徒が教科書を読みながら、自らの力で問題解決を進め、学びを深めていける構成になっているのが特徴です。啓林館は、教科書を利用して、生徒の主体的な学習を引き出す、仲間とのやり取りを通じて学びを深めていけるように構成されているのが特徴です。

このような各社の特徴を踏まえ、数学の調査研究会としては、新しい時代に必要となる資質・能力を育成するための、主体的で対話的で深い学びをより大切に考えている授業を構想したとき、啓林館の教科書がその趣旨を具現することに適したものだと判断いたしました。

- 議 長 : ありがとうございます。まず、説明に対して質疑がありましたらお願いします。
- 協議会委員 : 昨年度採択された小学校の教科書は啓林館と聞いておりますが、小学校の教科書は単元及び内容の配列に明確な差異があるとあります。例えば、九九は2の段から教える会社があり、啓林館は5の段から始まっております。三角形の面積は啓

林館は三角形からですが、他社は平行四辺形からでした。順列・組み合わせについても通常は順列を習いますが、啓林館は組み合わせ・順列という順番で学習します。これは学ぶ子どもの発達段階に応じ、数理の係に配慮した部分であると考えています。中学の教科書ではそういった内容の差異がほとんどないと思うが、啓林館において指導の哲学のような部分について感じているものがあれば教えてください。

研究員長 : 今ご指摘のあったとおり、基本的に中学校の教科書はほぼ配列に違いはありません。内容はどのように違うか、取り上げる題材がどのように違うかで各社の特徴があると感じております。

啓林館に限ったことではないが、今年の教科書の特徴は、地球温暖化のような環境問題など現代的な教材が多くなっております。啓林館も同様であります。また、哲学や姿勢の部分ですが、啓林館はまず生徒に問題の道筋を考えさせる、見方・考え方もお互いのやり取りの中から出すという姿勢が感じられる教科書の構造になっていると感じます。

議長 : 他にご質問等ございますか。

協議会委員 : 先生がおっしゃったように、教科書は、数学という学問を通してどう人間性を高めてゆくかという一つの材料になると思います。主体的で対話的に学ぶことは全ての会社が配慮しております。生活の中から推理を見出して解決してゆく、生活に戻すことが今までは算数や数学では弱かったかと思いますが、今の教科書ではそれが改善され、生活に戻すことが生きる力に繋がることを感じております。その点について細かな分析をしていただきたいと思います。

議長 : その他に質疑はありますか。

協議会委員 : 中学3年くらいになると、教室には様々な子どもがいてスタートするわけですが、教科書を読んで思ったのは、子どもたちのやる気を出すような工夫が大変されていることですが、教科書の習熟度に応じた工夫は明確に出されている教科書はあるかどうかお聞きしたいと思います。

研究員長 : 正直に申し上げますと、習熟度に応じて学習するという観点になりますと、東京書籍や学校図書は読み物として自ら学んでいくという部分は啓林館よりも配慮されているという風に思う部分はあります。ただ、習熟度という概念を作った後に、子どもたちが計算力を高めていくという点においては、3社ともほぼ遜色ないと感じます。

議長 : それではご意見ありましたらお願いします。

協議会委員 : 子どもたち1人1人が数学って楽しいな、いいなって思って学習してもらえることがこれから大事になると思います。その点では、どの教科書でも工夫があり、遜色ないかと思いますが。ただ私は、数学科でありますので、数理や系統性に目が行きます。その点では、伝統的に啓林館の教科書は非常にそこを大事にしており、私も啓林館が適していると感じます。

議長 : そのほかにご意見はありますか。(なし)

意見が集約されたと判断し、数学について最終決定をしたいと思います。

数学は、『啓林館』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)

全会一致で『啓林館』を選定することに決定しました。

次に、理科について説明をお願いします。

研究員長：理科で適当と認められる教科用図書として、東京書籍、学校図書、啓林館を挙げました。その他の教科書として大日本図書、教育出版がありました。総合所見・具体的所見からですが、学習の展開・見やすさや図解の写真・内容の3点からご説明いたします。

まず東京書籍ですが、全単元を通して学習の展開が、「問題発見」→「課題」→「予想（仮説）」→「実験」→「結果」→「まとめ」→「課題に対する結論の表現」→「活用」と終始一貫しているのが特徴です。学びとしてまとまりが良く、生徒の疑問や気づきから追究が始まり、自分の予想や仮説を立てて解決していく探究的な学びが大切にされています。

また、結果の見方や考察のポイントが示されたり、予想や仮説が言葉で表記する場が設けられたり、考察ではキーワードを挙げて自分の考えをまとめたり、まとめを元に友と交流する学習活動や学びを活かして考える場が設定されており、他社と比べて言語活動に重点を置いた試行・表現活動や対話的な学びが明確に設定されている点が工夫されています。

見やすさや図解の点では、版の大きさが他社と異なり A4 長であるが、開くと丁度正方形くらいになります。他社は少し大きい版です。扱う際には適度な大きさと考えます。それから、奇数ページやグラフの片方に実験・観察方法の説明が収められていて、学習前に実験結果が目につくこともない点が工夫されています。

内容については、実験についての「レポートの書き方」や「グラフの書き方」等が丁寧に説明されており、「飽和水蒸気量」「溶解度」など生徒の理解が不十分になりがちな部分について、重点的に分かりやすく説明されている点が工夫されています。また、単元で学ぶ概略や科学史、化学式などがイラスト等を用いて分かりやすく端的に紹介されている点も工夫されています。

学校図書については、一番の特徴は、理科を学ぶとはどういうことなのか、理科を学ぶ意味や、主体的で対話的で深い学びについて丁寧に述べられている点です。作りや扱いやすさとして、仮説や考察の例をキャラクターが話し合う様子で示され、具体的に分かりやすい形で示されている点が工夫されています。また、巻末にホワイトボードとして使える「アイデアボード」があり、対話活動を促す工夫がされています。

他には単元の初めと終わりに「Can-Do List」として、「何を身に付けるか」「どのように学びに向かうか」「理解していることをどのように使うか」という、新しい指導要領に合わせた3つの資質・能力をはっきりと明示している点が学校図書の良さだと考えます。

啓林館については、「探究の過程」が明示されている点、導入からまとめまでが一貫している点が工夫されています。また、単元の終わりに、学んだことを活かして身近な題材からの疑問を探求していく「みんなで探Qクラブ」という実験課題が設けてあり、授業の発展課題や自由研究として活用できます。実験カードの「探Qシート」もついており、生徒の追究活動に役立ったり教師が学習カードとして

活用できます。

それから啓林館の大きな特徴は、写真や図がとても綺麗です。冊子も大判で、見開きの中央に文章、両脇に写真や図表を配置するなどレイアウトが統一されており、見やすさを重視した点が工夫されています。写真や図が強く、資料集的な要素が強いとも感じました。各單元にはそれぞれQRコードが多く掲載されており、家庭学習を行う際の手助けになる点が配慮されています。

内容面については、追加実験や生活に対する応用が他社と比べて多い点が配慮されていると感じます。

3社それぞれ良い点がありますが、理科の研究会としては東京書籍が最も適当であると考えます。まず、関係することをとても大事にしており、いろいろな疑問や気づきから始まっている点、キーワードを挙げて課題に対する結論の表現から活用までしっかりまとまっている点が子どもたちの探究的な学びに繋がってゆくと考えます。また、実験の・観察方法の説明がページのなかにきっちりまとまっている点、学習カード等が入っていて、次のページに単元のまとめが入っている点で、指導する点でも教科書を子どもたちに開いてもらった時に、同じ大きさや構成である点も工夫されていると思います。

以上のことから、研究会としては東京書籍を推薦いたします。

議長：ありがとうございました。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)
それでは、ご意見ありましたらお願いします。

協議会委員：先生がおっしゃったように各社工夫されているなど思ったのですが、理科で大事にしたい「探究」というところ、子どもたちが主体的で対話的で深い学びの部分についてです。実験の後の結論までは子どもたちは分かるのですが、その後の考察に誘う部分が非常に弱いと思ったのですが、新しい学習指導要領で東京書籍はそこを非常に大事にしていると感じました。実験の目的、実験方法は勿論ですけど、結果をどう捉えるのか、また結果から何を視点にして考察すればよいかという点が非常に上手に主体的な学びを引き出す構成になっていると感じました。教科書の版型についても、個人的には非常に扱いやすいと思いました。一連の流れが見開きで網羅されて、全体の構造が分かることが非常に工夫されていて、私も探究的であること、評価の観点から東京書籍は優れていると感じました。

議長：その他、ご意見ございますか。(なし)

意見が集約されたと判断し、理科について最終決定をしたいと思います。

理科は、『東京書籍』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)

全会一致で『東京書籍』を選定することに決定しました。

次に、音楽について説明をお願いします。

研究員長：音楽科の教科書は、教育芸術社と教育出版の2社です。どちらの教科書も資料が非常に豊富で、見通しを持って子どもたちが学べること、技能においても段階を置いて高めることができるという点では遜色がありませんが、具体的にお話をさせていただきます。

教育芸術社については、義務教育9年間を見通した系統的な題材構成がされています。身に付けたい3つの資質・能力を確実に育成できるように、学習目標・

活動文等が分かりやすく書かれています。教育芸術社の主な特徴としては、非常に多様な音楽のジャンルがバランスよく配置されており、日本のJ-POPや海外のポピュラーソング、歴史や昔からの音楽の流れを大切にした日本の伝統文化が非常に幅広く載せられており、生徒の興味・関心を非常に引き、今後生涯にわたって音楽を愛好するというような目的も達成できるのではないかと思います。

また、教育芸術社の方は社会とのつながりをかなり意識した内容となっており、SDGsについて触れたり、作曲家等からのメッセージによって、音楽のみならず社会に目を向けられるような工夫がされています。

教育出版については、非常に豊富な資料で、特にこの教科書で大事にされているのは、比較ということと共同的に学ぶことです。各教材で「比べてみよう」「深めてみよう」など、他の教材と比較しながら、より確かな知識を身に付けるためのページを設ける等の工夫がされています。鑑賞等では「何が同じで何が違う？」など、協調性と固有性を考えさせるなど、多様で共同的な学習ができるよう工夫されています。

続けて器楽についてご説明します。器楽の方は、音楽の教科書とは別に、器楽教材を中心に扱ったものになります。こちらも演奏の仕方、写真、コラムなど非常にどちらの教科書も豊富です。

教育芸術社については、歌唱や創作・鑑賞での学びが生かされるように繋がっております。また写真などの紹介があったり、ピアニスト、または同年代の中学生などの写真も載っていて、非常に興味・関心を引く作りになっております。各楽器の導入部分に、その曲の鑑賞曲が掲載されており、学んだことを器楽表現に活かせるよう工夫されています。また、楽器がどこの学校にでもあって簡単に演奏できるような、学校にある打楽器での特徴や双方が解説されており、アンサンブルや合奏などに取り入れられるようになっております。

縫製について、教育芸術社はすべてのページが糸を通して縫製されており、譜面台に開いて載せた時にパタッと、折り目を付けなくてもサッと開ける工夫がされています。

教育出版の方も、「学びのねらい」からスタートし、徐々に力を付けて、「まとめの曲」をゴールとし、表現に必要な技能を学習できるようになっており、こちらも先程の音楽の教科書と同じように比較を取り入れて、分かりやすく提示されております。

どちらの教科書も素晴らしいのですが、先程申し上げた点から、調査研究会としては音楽・器楽とも教育芸術社を推薦したいと思います。

議長：ありがとうございました。説明に対して質疑がありましたらお願いします。

協議会委員：要望ですが、中学校になるとどうしてもコンクールみたいになっていって、難しい内容を与えて指導することも学校での大事な要素と思いますが、時には教科書を大事にしてもらい、ごくごく簡単なものの中に深さを入れてほしいと思います。今回コロナの関係で否が応でも音楽の授業は変わってきます。その中で、学習指導要領に合った部分を、音楽を通して深い学びをできると思うので、成果を競い合うことはあっても、それだけにならないように。授業観を変えていくチャンス、

そのため大変良い材料が教科書であると思います。

議 長 : ありがとうございました。その他にご意見ございますか。(なし)
意見が集約されたと判断し、音楽について最終決定をしたいと思います。
音楽は、『教育芸術社』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『教育芸術社』を選定することに決定しました。
次に、美術について説明をお願いします。

研究員長 : 美術は、日本文教出版と光村図書と開隆堂出版になります。
日本文教出版について総合所見ですが、他社は2～3年の教科書が合冊になって
おりまして、合計2冊です。日本文教出版だけは学年ごとの3分冊になっており
ますので、従って図版等のボリュームがありますので、図版等も大きい訳です。
そこが工夫されています。
また、学習指導要領が重視している共通事項に係る内容で、問いかけの言葉で「造
形的な視点」として設定されていることが魅力です。
また、題材ごとに身に付けたい力を、3つの「学びの目標」として示している点
ですが、これは子どもたちにとっても、むしろ教師にとっても美術で何を目標と
していくのか分かるように明示されていることが特徴です。
また、新学習指導要領でメインになっている生活や社会の中で美術分野を実感で
きる題材がたくさんあります。なんで美術を学ぶのかといったことが分かりやす
く構成されていることも工夫されています。
光村図書については、鑑賞を重視しております。表現の題材についても導入とま
とめに鑑賞を位置付けており、「鑑賞」と「表現」の相互関係を意識して学習でき
るように工夫されております。また、他教科とのつながりというコラムが沢山入
っているのが特徴です。それから、普通のツルツルの紙の中に和紙に近い用紙が
入れてあり、それを触って感触を実感できるという部分もあります。また、トレ
ーシングペーパーがあり、そのまま写し取れるというような配慮もあります。
開隆堂ですが、ユニバーサルデザインの考え方が非常に行き渡っている教科書で
した。色やマークが沢山あること、記述が細かいです。若干資料集に近い感じが
あるため、多くの学校では資料集を別を買っておりますので、その点では良いと
思います。レイアウトが共通になっており、パターンが決まっているので、生徒
が安心して教科書を見ていく、制作に取り組めるように配慮されています。
結論としては、研究員会としては日本文教出版が適当であると考えます。

議 長 : ありがとうございました。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)
ご意見をお願いします。(なし)
意見が集約されたと判断し、美術について最終決定をしたいと思います。
美術は、『日本文教出版』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『日本文教出版』を選定することに決定しました。
次に、保健体育について説明をお願いします。

研究員長 : 保健体育は、学研、大修館、東京書籍、大日本図書の4社から選定いたしました。
その中で、学研、大修館、東京書籍が適当と思われるのでご説明します。最終
的には、研究員会としては学研を選定したいと考えております。

各会社の教科書について、主体的で対話的な深い学びについて配慮されているかということ、自ら学べる内容であるかということ、課題のつかみ方・応用の仕方についてどのような工夫がされているかということ、本文のまとめ方、活用の仕方がどのようにされているかということ、各章末の問題の取扱いについて、本文の量、写真・図表・挿絵の量と大きさについて、資料の大きさ、写真・資料の新しさ、使っているフォントや配色の工夫、知識・技能の習得について、学習の繋がりに関連性について、豊かな生活の実践に向けてという観点から使いやすさ、ページの探しやすさ、インターネットへの関わりについてという観点で研究しました。

その中で、学習の進め方について、具体的な示され方というのはどの教科書でも最初の部分で学び方について触れられていて、これは今までなかったものです。また、一時間の授業分を見開きの2ページでまとめているのが特徴です。章末問題については、それぞれ自分で学習する時に大差ないかと思います。写真の大きさや資料の豊富さについては、ポイントとなる単元を絞り出して確認をしましたが、大きな差はありませんでした。

写真や資料の新しさについても、かなり新しいものを導入していました。例えば学研は、以前でも採用されている教科書ですが、現在使っている教科書とは違い、かなり新しい内容に変わっておりました。具体的には、「主体的、対話的で深い学び」を実現するために、「課題をつかむ」→「考える・調べる」→「まとめる・深める」という構成で、課題解決的な学習の進め方を示しています。また、大きな写真や章末・巻末資料が充実しており、生徒が自らの生活と関連付けて主体的に学べるよう工夫されています。「課題をつかむ」にはイラストや写真が入っており、生徒が自らの生活や運動を想起しやすいよう工夫されており、身近な事から内容に入りやすくなっていると考えられます。一時間で扱う内容の最後に、「まとめる・深める」が設けられ、その時間で習得した知識を活用することができるよう工夫されていました。また、各章末に「探究しようよ」があり、既習事項を基に思考力・判断力を働かせ、深い学びを実現できるよう工夫されていました。さらに、多くの写真に具体的な地名が記載されており、自分たちの地域と比較しながら考えることができるよう工夫されていました。

また学研は、ページの探しやすさという観点では、学年・体育編・保健編・各章が色分けされており、どれを見つめたいかというときの工夫が一番されていました。

大修館について、どの章も見開き2ページにまとめられ、「つかむ」→「身に付ける・考える」→「まとめる・振り返る」といった構成になっており、学習者が見通しを持ちやすい構成であります。導入の「課題をつかむ」では、学研と同様にイラストや写真から自分で予想を立てたり、意見を発表する場面を設けております。学習者が主体的に授業に臨めるようになっていっていると考えられます。また、「学習のまとめ」では、学習内容をつかみやすいように意見交換をする場面が設けられており、対話的な授業に対応できる内容となっております。見開き2ページの外側に、グラフ、写真、イラストといった資料が豊富に配置され、視覚的にとらえやすい

ようになっています。

東京書籍ですが、1時間の学習内容を「見つける→学習課題→課題の解決→広げる」の4段階で課題が解決できるように構成されております。学習課題に対してはキーワードの記述があり、手掛かりとすることで課題を解決することを容易にしています。また、「見つける」という項目で、身近な生活や経験の中から学習課題に繋がるよう、写真・図・イラストなどが設定されております。

また、大きな特徴として東京書籍はデジタルコンテンツが豊富で50のコンテンツがあり、ホームページにアクセスすることで動画を閲覧でき、生徒の理解を助けることができます。今回のコロナのような時に家庭で学習をする際、役立つと考えられます。他の会社についてもデジタルコンテンツがありますが、この部分に関しては東京書籍が一番充実しております。ただ、東京書籍については、見た時の色使いが優しく、ポイントが見つらいと感じました。

以上より、研究会としては、学研を推薦します。

議 長 : ありがとうございます。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)
ご意見ありましたらお願いします。(なし)

意見が集約されたと判断し、保健体育について最終決定をしたいと思います。

保健体育は、『学研』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)

全会一致で『学研』を選定することに決定しました。

次に、技術・家庭科について説明をお願いします。技術分野からお願いします。

副研究員長 : 技術分野では、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社です。

東京書籍は、生徒が主体的に学習に取り組み問題解決できることを重視した構成になっています。具体的には後ほど説明いたします。

教育図書は、全体的に生徒が関心・意欲をもって学習できることを重視した構成になっています。この2社だけ、別冊の技術のハンドブックを作っており、ここに基本的な事項が書かれており、場面によっては有効に活用できると感じます。

開隆堂については、生徒の実態や環境に合わせて、学校や生徒によって違いはありますが、それに合わせて色々な題材を提供しています。そして、それに説明を多く加えているのですが、実際に授業を行うときには、利用者の情報の観点から豊富に提供された題材の説明を教員が少し加える必要があるかと思われます。

具体的に比較して説明をいたします。(資料について説明)

作業前の生徒の安全面に関する記載から比較いたしました。東京書籍は文字が少なく、教育図書は文章で安全面について書かれています。開隆堂については、端的な説明が書かれています。注目していただきたいのは、東京書籍の○と×のイラストについて、ここでは多くの説明はありませんが、ノコギリが大きく台からはみ出しています。これを見た時に、どうしてノコギリがはみ出していると×なんだろうということを子どもたちが理解する時、そこに自然に注目が行くと思います。このような構成がされていて、自主的に学習をする、興味を持って教科書に入って行ける工夫がされていると感じました。教育図書については、多くの説明が書かれていますので、文章で注意を促すことができます。開隆堂についても同様です。

また、授業で扱う上で、写真等で説明することが多くありますが、いずれの3つもさしがねで線を引くところ、ノコギリで切断をする場面ですが、それぞれの教科書に特徴がみられました。東京書籍は、ノコギリの方を見ると、ノコギリと材料と背景のコントラストがはっきりしています。教育図書の方は、このコントラストが弱いです。開隆堂については、背景と一緒に塗り替えられています。

また、さしがねでの線の引き方については、東京書籍は注目すべきところに自然に目が行くような写真の作り方をしているように見受けられました。

総合所見に関して、題材例の問題解決のとらえについても比較しました。教育図書と開隆堂については、どちらも散らかっている様子を示しています。幅広く、色々な整理をそこからできることと繋がっていくものです。東京書籍は文章でしか書いておりませんが、部屋に散らかっている小物を置く場所がない、といった問題の捉え方をしております。何かを作ろうと思った時に、ここを整理したいという気持ちがあつてこそ作る物を作りたい、問題解決したいという気持ちが起これると思いますが、その点では東京書籍の問題の捉え方が的確な学習に結びつくものではないかと思えます。

以上の様な理由から、技術分野について東京書籍が適当でないかと考えます。

議長 : ありがとうございます。次に家庭科をお願いします。

研究員長 : 家庭科分野では、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社がありました。どの教科書も家庭科の目標は基礎的な知識や技能が身につくように工夫されていました。東京書籍と開隆堂は自立と共生を目指しており、教育図書はくらしを創造することをテーマにし、持続可能な社会を意識して作られておりました。3社ともほぼ同じページ数ですが、東京書籍と開隆堂は薄い紙を使用しているため、A4で教科書が薄く扱いやすいかと思われます。調査研究員会としては東京書籍が適当であると考えました。その根拠をご説明します。(資料説明)

1つ目は、ガイダンスや各編での導入が充実していることです。東京書籍は家庭科のガイダンスが17ページ、教育図書は4ページ、開隆堂は11ページ扱われています。ガイダンスのところにも載っている「問題を解決する道筋と見方・考え方」というところですが、問題解決的な学習の進め方がよくわかるようになっています。今回の学習指導要領の改訂のポイントである、生活の営みに関する見方・考え方を働かせるという点が示されております。また、同じ食生活のページでも、東京書籍の場合は小学校との関連やその題材で扱う内容、生活の営みに関わる見方・考え方は何を使って働かせればいいのかという例示がされており、意識しながら学習ができます。それに対し、教育図書はガイダンスがなく、いきなり気付いたことを話し合ってみようという入り方になっております。このことから、東京書籍の方が子どもたちが見通しを持ち、また家庭科担当者が初任者・講師といった先生が多い中で、そういった先生も見通しをもって学習を進めることができると考えます。

さらに、2つ目として子どもの学習の合間に、子どもが課題を見つけ、興味関心をもって主体的・対話的に学習が深められるように工夫されています。こうした問題解決的な学習の流れを振り返ることで、生活の中の問題を解決する力を育て

られると思います。

3つ目として、題材の配列が工夫されていることが挙げられます。教育図書、開隆堂の2社は、A・B・Cの領域の順番で題材が掲載されていました。東京書籍はガイダンスの後、衣食住の身近な内容を前半に配置し、小学校での学習内容を生かし発展的な学習ができるよう題材が配列されていました。

4つ目として、「自分の生活をチェックしよう」というところで、家庭科の3つの領域、題材ごと、さらに1年の初め、2年、3年の終わりように学年ごとにチェックをしながら振り返りができるようになっています。教科の観点が明確であり、生徒が自分の成長を自覚することができ、家庭科の目標も達成しやすいのかなと思いました。

以上の理由から、家庭科としては東京書籍が適当と考えました。

議 長 : ありがとうございます。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)
ご意見ありましたらお願いします。(なし)

意見が集約されたと判断し、技術・家庭科について最終決定をしたいと思います。技術・家庭科は、『東京書籍』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『東京書籍』を選定することに決定しました。

次に、英語について説明をお願いします。

研究員長 : 英語は東京書籍、三省堂、光村図書の3社を適当であると考えました。まず各教科書についてご説明し、その後には研究員会としては東京書籍を推薦する理由をお話しします。

まず東京書籍ですが、この教科書はもくじ、また各ユニットの扉のページに Goal が明確に示されており、Goal に向かって課題を掴む Preview、規則を学ぶ Scene、Mini Activity、Read and Think と続いていきます。そしてその内容と活用する Unit Activity という風につながっていきます。子どもたちが統一感のある内容の中で、見通しをもってメリハリがありスパイラルな学習ができるよう工夫されています。

(資料説明) 3年生の目次になります。活動目標 (Goal) が単元別に示されています。ユニット4を見ると、最近大きな課題である災害を題材に取り上げています。そしてこの Goal ですが、外国の方に災害対応の標識の説明をする課題が最後に待っています。そこに向けて、日本に住む外国人の防災意識や、地震にあったときの体験談や、ある街で中学生が防災マークづくりの取り組みを行うなど、そのユニットの Scene で学んでいます。そして Goal で今の目標に繋がるという構成になっています。この Goal に向けて、技能や思考が深まるように構成されていると考えられます。その他にも題材は豊富で時事問題を取り上げたり、生徒の知的好奇心や課題意識の喚起ができるよう配慮されています。

また、ユニットの始まりに Preview ページが設けられ、QR コードから読み取れるイラスト動画によってそのユニットで学習する新出表現を導入することができます。これがすべての生徒に捉えやすいように配慮されています。

また、即興的に話す力を養われるよう配慮し、子どもたちの学びやすさ、新学習指導要領で示す方向を大切にされた教科書という風に工夫されていると感じまし

た。

三省堂については、各単元で段階的な学びと特設単元（Project）を組み合わせ、スパイラルな学びをしながら課題解決力・表現力を高めてゆくように配慮されており、また東京書籍と同様に、多様な題材を取り上げているという点も配慮されています。今回の三省堂の題材の特徴は、文法事項の配列を大胆に変更したことです。高校の内容から「仮定法」など3つの事項が中学へ移行されましたが、生徒の負担軽減という観点から、1年・2年に幾つかの言語事項が移行しています。この移行について、後程研究会の所見をお話しします。その他、各活動において協同学習を取り入れている点も特徴として認められます。

光村図書について、教科書の最大の特徴は、3年間に渡って登場人物の中学生が、学校や家庭での生活を通して成長するストーリーで構成されていることです。文化祭や部活動の内容があり、場面での話題が提供されています。子どもたちが生活場面に共感しやすいこと、また場面や状況が明確に示された学びとなるよう配慮されています。また、各ユニットを通して統一したテーマ・題材で展開されており、東京書籍と同様の良さがあると感じます。

3冊とも小学校との学習内容の接続については、小学校で慣れ親しんできた表現を一致させながら、文法的に再構成して中学の学習に繋げるという点で配慮があり、適切であると感じました。

この3社の中で東京書籍を推薦する理由を述べます。まず、単元の比較ですが、私たちが一番留意した点は、文法事項の大胆な移行というところです。（資料説明）現在我々が使っているのは三省堂ですが、来年どのようになるかをまとめました。来年から仮定法等が高校から下りてきます。3社ともその3つは3年生に入れています。これに伴い、三省堂では現在完了と疑問詞+toを2年、be動詞の過去形と未来表現を1年生に下ろしました。これらは大きな文法事項で、例えば1年生で過去形のwasとwereに加え、未来形のbe going toやwillなどの表現まで学ぼうとすると、小学校で今まで英語を学んできた子どもたちでさえも果たして理解ができるかという懸念と、先生たちも子どもたちも非常に忙しく混乱してしまうのではないかという意見が研究会で出されました。3年生では現状12月から1月に教科書内容をほぼ終えられるのではないかという見込みを念頭に置くと、これら3文法が入ってくることを考えると、これほど大胆な変更をしなくても大丈夫ではないのかと考えました。また、各単元でのGoal、Projectなどに設定されている課題も、東京書籍の方がより子どもたちを意識されているものだという風を感じました。

次に光村図書との比較ですが、研究会で議論されたのは、題材に対する捉え方です。光村図書の教科書の登場人物たちが、学校や家庭での生活の中で成長してゆくストーリーは確かに共感しやすく、場面を理解しやすいですが、一方で身近であるがゆえに様々な国の様子や社会的な課題の盛り込み方が東京書籍に比べて物足りないところがありました。

英語の題材観として、外国語文化や社会的課題について英語を通して考え、学び、グローバルな視点を培うといった観点を大事にしたいと考えます。また新学習指

導要領の方向性について、カリキュラムマネジメントにおいても様々な課題を扱うことに繋がっていくと思いますので、より表現豊かな題材で構成されている東京書籍が良いということで研究員会の意見は一致しました。子どもたちが安心して学べること、そして学びの深まりについてより期待できる東京書籍を研究員会としては推薦します。

議長：ありがとうございました。説明に対して質疑がありましたらお願いします。

協議会委員：1点お聞きします。小学校の外国語教育において小学校でどこまでやるか、中学校でどこまでやるかわかりましたが、説明の中では小学校で学んだことを中学に繋ぐという観点で3社とも特に大きな差異はないという説明がありましたが、もう少し細かく見た時に、3社の特徴の違いがあったらお願いします。

研究員長：光村図書の場合は、小学校との教科書と一番関連性がありスムーズかもしれません。東京書籍については、他の2社が3つのユニットで小学校の内容を復習しているのに対し、レッスン1から5まで5つの単元で細かくカテゴリー別に復習でき、ステップを意識しているように感じます。使われた単語については、我々教員も研究を深めながら授業を行っていかなければならないと思いますが、段階的な学びという点では優れているのではと感じています。

また、三省堂と比べても、東京書籍は1年生の最初のレッスン1から5にある**Enjoy Communication**というところで、小学校でやったことのないことをベースにダイアログを示し展開しているのに対し、三省堂はいきなり使ったことのないものを使ってみようということで、どういう風に使っていけばいいのか子どもたちが少し戸惑うようにも感じました。

総合的に見ると、東京書籍は子どもたちが段階を踏みながら学習する点でよいと感じました。

議長：他に質問ありましたらお願いします。

協議会委員：今までと教科書が大きく変わっているのも、そういう時の授業のやりづらさなどへの配慮はよろしいですか。

研究員長：研究員会の中でも話をしましたが、今度の三省堂の教科書を見ずに東京書籍の教科書を見ると戸惑うかと思いますが、来年三省堂の教科書を見た時に、今一生懸命授業を追いつかせようと先生方が頑張っている中で、来年2年生に上がる前に、1年生で未来形があると新しい教科書に移った時に子どもたちが学習できていない状況になってしまい、3年生になる前に残された時間の中で行うことが難しいのではないかとありました。また、年齢にもよりますが、東京書籍と三省堂を県内でも多く扱っていると思い、両方触れている先生も、東京書籍が変わってしまったと思う先生はいるかと思いますが、子どもたちに関わるところが大事だと考え、東京書籍を選びました。

議長：他に質問ありましたらお願いします。

協議会委員：お話をお聞きしていて、今年の学びの状況がこれから繋がっていくのか、各社のお話を研究員長からお聞きしたのですが、やはり今年の状況を把握して作った三省堂がどのくらい子どもたちに内容を変えることによって負荷になってくるのか。それから小学校で使っている光村図書そのままではなくて、あえて東京書籍の

方が子どもに寄り添う内容が豊富であるという話だったが、そういうことでよろしいでしょうか。

研究員長 : そのように考えました。ありがとうございました。

協議会委員 : 非常に難しい選択を大事に行っていると感じました。それは小学校との繋がりが大事であるということの説明でもそうですし、英語の教育はやはり発音や、また小学校は英語が教科化されたのですが、小中の連携というのはこれからとても気にしなければならない部分だと思います。繋がりを大事にして進めたり、また子どもたちが自分の知識を幅広くいろんな活用をするという点で選んでいただいたと思います。個人的には、三省堂を見た時に、これで新しい学びの方向は大事にされているかという不安がありました。今、ご意見を聞いて納得しました。ぜひ教科書の会社が変わるのを機に、小中の連携を私自身も考えていかなければならないですし、ぜひ大事にさせていただきたいと思いました。

議長 : 他にご意見ありますか。研究会としては、これまでは三省堂でしたが東京書籍に変わるということです。ご意見ありましたら再度お願いします。(なし)
意見が集約されたと判断し、英語について最終決定をしたいと思います。
英語は、『東京書籍』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『東京書籍』を選定することに決定しました。
次に、道徳について説明をお願いします。

研究員長 : 道徳は全部で7社あります。

選定の基準として、子どもたちが使用した時のことを一番大事にしたいと考え、活用したいと思う物があるか、後世にまで伝えたい物、往年の名作などあるか、作者等が長野県にちなんだ教材があるか、生徒目線からの教材であるか、主体的な学びを考慮して生活が教材に入りこんでいるものか、生徒が目にしたとき学びたいと思える教材があるか、体系的な学習になる教材があるかを大事にしました。また、教材の配置・工夫ということで国から示されているものがありますが、先生方に見ていただいたときに教材の理論が正しいものであるか、装丁が良い物か、万が一自学自習をしなければならない時に対応ができるものかという点も大事にしました。

その中で光村図書、東京書籍、廣齊堂あかつきの3社を選定しました。

光村図書は、ユニバーサルデザインに配慮したり優しい色合いであるところが工夫されていると思いました。資料そのものが魅力であり、名作と呼ばれるものや書下ろしの作品も多く、漫画やグラフ、ポスター、新聞記事や私の築くみちしるべ(信濃教育会)などをうまく利用する中で、教材が生かされるということを感じました。また、発問がコンパクトに絞っており、学習を進めやすくなっています。デジタルコンテンツについても充実しております。

東京書籍は、教科書にホワイトボードがついており、皆で学ぶ部分で配慮されていると感じました。また、メモを書き込める用紙もあります。中心発問を1問、生き方に係る発問を1問と絞ることで、考える時間を確保した授業が展開できるように配慮されていると感じました。

廣齊堂あかつきは、大きくダイナミックな写真があり大変綺麗で、諏訪中央病院

の鎌田先生を取り上げており、諏訪地域としてはありがたいと感じました。ただ、発問が多いと思う点もありました。

研究会としては光村図書を推薦します。諏訪郡の教材を中学校でも学びなおすという点で、付録部分で小学校の内容に触れている部分があります。小学校とはまた違った観点から子どもたちが学べるのではないかと思う部分もありました。

議 長 : ありがとうございました。説明に対して質疑がありましたらお願いします(なし)。ご意見はございますか。

協議会委員 : 光村図書と東京書籍の中に発問という言葉がありましたが、道徳という感性を求めていく勉強の中では、深さが大事だと思います。明らかに光村図書の方が深さを感じました。この点は、勉強していて大事な点になると思いました。東京書籍の発問は端的というか、質問に対してどうかと尋ねるものが多い。光村図書の方がひとつ捻った内容になっていると思った。

議 長 : 研究員長から発問に対して何かありますか。

研究員長 : 道徳の授業は、発問を絞るところが先生方は苦勞されるところだと思います。文章の内容についてどう思いますかという発問への回答は少なくなってしまうのですが、光村図書の方は、内容の間に2つ目の反省の発問が入っているところが珍しいと感じます。

議 長 : 他に質疑、ご意見がありましたらお願いします。(なし)

意見が集約されたと判断し、道徳について最終決定をしたいと思います。

道徳は、『光村図書』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)

全会一致で『光村図書』を選定することに決定しました。

中学校の全教科について、協議会としての判断ができました。報告をいただきました調査研究会の先生方、慎重にご判断いただきました協議会員のみなさまありがとうございました。

それでは続いて、『小学校の全教科について』事務局の説明を求めます。

事務局 : 小学校の教科用図書につきましては、全教科を昨年度採択いたしました。

文部科学省からの採択事務処理についての通知では小学校の教科書採択について、令和2年度においては学校教育法附則第9条1項の規定により教科書以外の教科用図書を使用する場合を除き、基本的に令和元年度と同一の教科書を採択しなければならないことと通知されております。長野県教育委員会でも、5月17日に開催した第1回教科用図書選定審議会において、文部科学省の通知の通り、小学校用教科書については、無償措置法第14条の規定に基づき、無償措置法施行規則第6条各号に掲げる場合を除いて、令和元年度と同一の教科書を採択しなければならないことが確認されております。

従いまして、5月20日の教科用図書採択研究協議会で確認いただいたとおり、令和3年度に使用する教科書の選定については、令和元年度採択と同一の教科書を選定すること出席委員全員の一致により決定いただいております。

(2) 市町村教育委員会における採択報告及び情報公開について

議 長 : それでは、次に市町村教育委員会における採択報告及び情報公開について、事務

局の説明を求めます。

事務局： それでは、採択と採択結果の報告について確認させていただきます。

協議会規約の第11条で「協議会の会長は、教科用図書を選定したときは、採択地区の市町村教育委員会に対して、選定した教科用図書の種類及び当該教科用図書を選定した理由を報告する」と定めております。

この報告については、特段文書をもって行いませんので、本日の協議会の選定結果を持ち帰り、協議会規約第12条の「市町村教育委員会の行う教科用図書の採択」の規定により、各市町村教育委員会において8月12日（水）までに採択を行っていただき、資料にあります報告書により協議会事務局であります、茅野市教育委員会へ報告をお願いいたします。

また、採択結果が出次第、事務局職員の皆様にはお手数ですが、メールにて速報も入れていただくようお願いいたします。

協議会規約第13条の「議事録及び資料の公表」につきましては、事務局が全市町村の報告を受け、採択事務の完了を確認できましたら、各市町村に連絡いたします。それ以降、各市町村における採択の公表は、それぞれの市町村のご判断で行ってください。また、協議会、研究員会の開催経過、資料等、協議会としての公表は、協議会事務局であります茅野市教育委員会が一括して行います。

協議会、研究員会に関する部分の公表については、事務局にて協議会議事録を作成し、茅野市教育委員会のホームページ上において公表します。

なお、今後の静ひつな採択環境を確保するために、協議会長を除く採択研究協議会構成員及び調査研究員会研究員の名簿については公表せず、議事録においても発言者の氏名は記載しないこととします。

各市町村の公表に際しましては、協議会に関することは茅野市教育委員会で公表されていることを表記するか、各市町村の公表サイトにリンク設定をしていただく等の対応をお願いいたします。

最後に公表の時期ですが、議事録作成・確認の時間を考慮し、また県下の各採択地区の状況から採択の期限である8月31日以降とし、9月1日を予定して準備を進めていきたいと考えております。

説明は以上になります。公表についてご協議いただきますようお願いいたします。

議長： 協議会規約第11条「選定した教科用図書の報告」第12条「市町村教育委員会の行う教科用図書の採択」第13条「議事録及び資料の公表」の規定により説明をさせました。

協議会、研究員会に関する部分の公表については、議事録も合わせて9月1日に茅野市のホームページでの公表を予定します。

説明に対して質疑等ありますでしょうか。（なし）

(3) その他

議長： それでは、最後にその他として何かありますか。（なし）

議長： それでは、以上で議事は終了でございます。

本日、教科書の選定にかかわり慎重かつ誠実に議論いただきましたことに感謝申し上げます。今後、各市町村において、今日の結果を踏まえ、先ほど事務局から説明があった日程にて採択事務を進めていただきますようお願いいたします。
本日は本当にありがとうございました。

5 閉会（茅野市教育委員会 学校教育課 学務係長）

事務局 それでは、これもちまして、諏訪地区教科用図書採択研究協議会並びに諏訪地区教科用図書調査研究会合同会議を閉会とさせていただきます。
どうもありがとうございました。